



# Polaris news

【北高新聞 NO.202103】

## 「ICAN オンラインスタディプログラム」 フィリピンの様子や人々の想いに触れることができるプログラム (2021.8.28~29)

ICANは、一人ひとりの「できること」を持ち寄り、貧困・紛争・災害による影響を受けた子どもの能力向上や地域の環境改善に取り組む国際協力 NGO です。オンラインスタディプログラムでは、フィリピンの路上の子どもたちやフェアトレード生産者との交流を通して、現地の様子や人々の想いに触れることができます。私はこのプログラムに参加して、自分が今どれだけ恵まれた生活をしているのか知りました。そして、それを当たり前だと思わないようにして、少ししかできないかもしれないけど募金をしようとか、自分にできることは何なのかを考え行動していきたいと思いました！！

(普通コース 2年 森田梨央奈)

### ■ICAN の主な活動内容



路上教育



児童養護施設「子どもの家」



職業訓練

### ■1日目：「パヤタスについて知る！」

パヤタスとはフィリピンにある人口約 12 万人の地域！1 日の平均収入は 100~150 ペソ（約 200~300 円）。この地域は昔ゴミ山があり、そのゴミを売って生計を立てている人が沢山いました。2000 年に死者・行方不明者を大勢出した「パヤタスゴミ捨て場崩落事件」によって、現在は閉鎖されています！



Before



After

・住んでいる方にインタビュー



中継で見ている時に左の方にずっと小さな女の子がくっついていて、お孫さんですか？と聞いたらまさかの他人でした！ご近所付き合いがあり、仲良しなんだなと思いました！！

家は全てゴミ山で拾ったものを使って作ったよ！！  
電気、ガス、水道は通っていない(´;ω;`)  
1日の生活費は、2人で200ペソ（約400円）



パヤタスをよりよくするためにフェアトレード製品を作って販売している、パヤタスのお母さんたちからも話を聞きました！

■2日目：「路上の子どもたちと交流！」

この写真はマニラの近くの貧困の方が沢山いる場所です。1人で路上生活をしている子どもは約25万人（出生登録していない子が沢山いるので実際はもっといる）。学校に通えず、物乞い、廃品回収、呼び込み、時に軽犯罪等で1日50～100ペソ（約100～200円）の収入で生活をしています。



私が一番印象に残っているのが、生活に苦しんでいる子供たちは、ご飯を1食食べるよりも「シンナー」を1回吸った方が空腹や辛い事を24時間忘れられるという事で、ダメだとわかっていながら使用する子も多くいたことです。生活していくことの大変さをとても感じました。



子ども達と話やゲームや話をし、言語は違うけどとても楽しむことができました！



## ■オンラインショップオープン：「Kaya ko!」

「Kaya ko!」とはタガログ語で「I can」という意味です。ここではパヤタスのお母さんたちによる手作りのぬいぐるみやキーホルダー、雑貨、マスクなどを販売しているので是非のぞいてみてください！



「Kaya ko!」は認定NPO法人アイキャンが運営するフェアトレードショップです。「Kaya ko」はタガログ語で「I can」という意味を持ちます。私たちは、社会問題を解決するために自分にできることを行動する「kaya ko!」な人々とともに、フェアな関係から生まれる社会づくりを目指しています。

### Category



ぬいぐるみ  
16 items



キーホルダー  
40 items



雑貨



その他

URL <https://kaya-ko.stores.jp/>